

平成23年度 西南学院大学更新講習開設一覧(選択領域)

必修/選択	開設部局名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の場所	時間数	講習開講日	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	
1	選択	人間科学部	幼小移行を滑らかにするために	本講座では、 1. 小学校教育への移行期を、①人的環境(子ども・保護者・幼稚園及び小学校教諭)、②行政(義務教育の見直し。無償化。教員人事交流など)、そして③諸国の取り組みを視座に眺望し、 2. 実際の取り組みを参考にしながら、子ども達を中心に据えられた移行の在り方を話し合い、 3. 教育に携わる者に必要とされる素養を紡ぎだしたい。	門田 理世(人間科学部教授)	福岡市早良区 (西南学院大学)	西南コミュニティセンター会議室(2階)	6時間	平成23年7月29日	教諭	幼稚園・小学校教諭	6,000円	30人	平成23年5月16日～平成23年5月31日
2	選択	人間科学部	ミクロの世界の探究	ミクロの世界の探究法は、顕微鏡観察のように対象物を直接拡大して見る方法や、X線回折や分子分光のように対象物と光の相互作用の測定から間接的に見る方法がある。本講習では、最初にそれぞれの測定法の原理を身の回りの材料を用いて解説し、続いて、走査型電子顕微鏡やX線回折装置やFTIR分光計などを用いて昆虫や食塩結晶や大気中の温室効果ガスなどの観察・測定実習を行う。	松村 敬治(人間科学部教授) 塩野 正明(人間科学部教授)	福岡市早良区 (西南学院大学)	5号館305教室(3階 理科教室)	6時間	平成23年8月8日	教諭	小学校・中学校教諭(理科)	6,000円	30人	平成23年5月16日～平成23年5月31日
3	選択	人間科学部	「演劇」「ビデオ」「プレゼンテーション」などの協働制作・表現活動の指導法	本講座では、児童・生徒の園や学校生活において取り組まれる演劇・ビデオ・プレゼンテーションなどの表現活動において、教師が「ディレクター」としてどのようにその活動を刺激し導くことができるか、受講者による実際の創作活動(演劇・ビデオクリップ作成・プレゼンテーション作成)を通して学ぶこととしたい。協働作業による構成・表現活動は、児童・生徒の成長に大変有意義な機会を提供する。学級経営の有意義な場面として活用されることを願う講座である。	渡邊 均(人間科学部教授)	福岡市早良区 (西南学院大学)	西南コミュニティセンター会議室(2階)・ホール(1階)	6時間	平成23年8月8日	教諭	幼稚園・小学校・中学校教諭	6,000円	30人	平成23年5月16日～平成23年5月31日
4	選択	文学部	英文法に表れた世界のとらえ方	この講習では、英文法を単なる規則の集合体としてとらえるのではなく、人間の世界の見方、とらえ方が、英文法にどのように反映されているかという観点から見直していく。たとえば英語には「数えられる名詞」と「数えられない名詞」があるといわれるが、その違いはどこから来ているのか、英語の構文には、話者の事態認知のあり方がどう関わっているかなどの問題を取り上げる。	久屋 孝夫(文学部教授) 藤本 滋之(文学部教授) 川瀬 義清(文学部教授)	福岡市早良区 (西南学院大学)	1号館710教室(7階)	6時間	平成23年8月2日	教諭	中学校・高等学校教諭(英語)	6,000円	30人	平成23年5月16日～平成23年5月31日
5	選択	文学部	リーディング・インストラクション	この講習では、訳読をせずに生徒の英文読解能力を伸ばす方法であるリーディング・インストラクションについて、最新の教授法を紹介します。精読と多読をバランスよく組み合わせたカリキュラムによって、生徒のリーディング能力を効果的に伸ばす方法を学びましょう。授業では、まず精読に焦点を当て、次に多読に焦点を当て、それぞれの具体的な授業方法を学びます。授業はすべて英語で行われます。	ロナン ブラウン(文学部教授)	福岡市早良区 (西南学院大学)	3号館303教室(3階)	6時間	平成23年8月9日	教諭	中学校・高等学校教諭(英語)	6,000円	30人	平成23年5月16日～平成23年5月31日
6	選択	文学部	英語科教員のためのスキル養成講座	中学校、高等学校の英語科教員にとって必要なスキルのうち英語学力の評価法について取り上げる。英語学力の測定と評価に役立つ基本的な概念を理解していただくとともに、テストの質的検討をする際に役立つ具体的な分析法を習熟していただく。	伊藤 彰浩(文学部教授) 樋口 功(文学部准教授) シンディー ドーハティ(文学部講師)	福岡市早良区 (西南学院大学)	3号館307教室(3階)	6時間	平成23年8月8日	教諭	中学校・高等学校教諭(英語)	6,000円	30人	平成23年5月16日～平成23年5月31日